

令和8年度 袋井高校 第1回学校運営協議会【議事録】

日 時：令和8年5月20日（水） 午前10時から12時

場 所：袋井高校 榎緑館 研修室

参加者：（委 員）大谷純應、小柳津和彦、木村雅和、永田佳寛、中村佳央、速水二葉

（欠席委員）山鳥裕子

（敬称略）

（教職員）藤村校長、大石公副校長、大石泰教頭、伊熊事務長、森下教諭

1 学校運営協議会委員の任命書授与

2 学校長挨拶

3 自己紹介

4 学校運営協議会の趣旨及び制度について

5 会長及び副会長の選任

提案（会長：木村雅和、副会長：山鳥裕子 委員）について承認

6 本校の「総合的な探究の時間」について

森下教諭より、本校の探究活動の設計と、本年度の課題およびその改善策について説明があった。

7 令和8年度学校経営計画について

【校長】 目指す学校像「生徒の可能性を広げる学校」と育てたい生徒像「主体的に取り組む成長する生徒」について説明があった。特に、以下の2点が重点項目として示された。

- ・探究活動を核としたキャリア教育の推進。
- ・放課後時間の確保：令和9年度より火～金の7時間目授業を廃止し、生徒・教員がゆとりを持って様々な活動に充てられる時間を創出する検討を行う。

8 質疑及び情報交換

【木村】 工学部の学生でも、入学時に明確な志を持っていない者が多い。高校時代から「自分は何をやりたいのか」を突き詰めることは極めて重要。

【小柳津】 高校生が街づくりに参画する可能性に期待している。行政としても、子供たちの将来に深く関わっていききたい。

【大谷】 課題設定において、自分をペルソナにするのではなく、他者のニーズを掘り起こすデザイン思考の徹底が必要。地域としても積極的に協力をしていきたい。

【速水・中村】 小中高が連携し、幼少期からの好奇心を絶やさず、主体性を育む仕組みを作りたい。小学校での体験活動不足を高校生が補う活動をさらに発展してもらいたい。

【永田】 保護者が、学習と探究への取り組みにより、どう進学や成長に繋がるか、その理念を知る機会があれば、さらなる好循環が期待できると感じた。学校の働き方改革へ

の理解も深めていきたい。

【校長】 本校の強みは生徒の夢の実現に向けて「諦めさせない粘り強く邸内な指導」と「最後まで伴走」。これらを数値化できない価値として地域へ発信していきたい。

9 学校経営計画の承認

委員の審議を経て、令和8年度学校経営計画が全会一致で承認された。

10 その他（今後の開催日程）

第2回：令和8年10月20日（火）午前10時00分から

（※探究中間発表会は10月29日（木）午後に変更）

第3回：令和9年2月3日（水）午後2時30分から（探究最終発表会と同日）